

新田だより 2月

豊中市立新田小学校
R 4. (2022).2.1



立春

暦のうえでは春なのですが、寒さが和らぐまでにはもうしばらく我慢が必要です。

2月は「逃げる」で、あっという間に過ぎていきそうです。その時、その瞬間を大切に、教育活動に当たりたいと思います。

さて、1月27日から2月20日まで、大阪府にまん延防止等重点措置が適用されました。新型コロナウイルス変異種の感染拡大、第六波真っ只中にあり、その感染力の強さを目の当たりにしながら感染の危機と向き合いながら過ごす日々が続いています。

豊中市教育委員会は、この度の感染拡大状況を踏まえ、インフルエンザ様疾患時と同様に、学級休業の基準を定めました。具体的には、一学級 15 パーセント程度の罹患があった場合は、市教委指示のもと、一定期間臨時休業となります。オンライン授業の詳細につきましては、すでにお知らせしていますように、低学年は、一日 3 時間、高学年は、4 時間の授業となります。一日の流れ等は、スカイメニューの電子連絡板でご確認ください。

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染する恐れがあります。感染された方に対し、誹謗中傷のないよう、お互い思いやりの気持ちを持ち接していきましょう。

学校の教育活動につきましては、従前どおり、各教科学習や清掃活動、児童会活動、業間の遊び等々における感染リスクを抑えるため、「換気」「ソーシャルディスタンス」「こまめな手洗い消毒」「マスクの着用」を基本にした感染防止対策を徹底しています。お子さまの体調が悪い場合、無理をさせないようにお願いします。

年度末にさしかかる2月には、今年度の教育活動のまとめとしての学校行事や学年行事が控えています。感染拡大状況により、止むを得ず、予定の変更や中止をせざるを得ない場合もありますのでご理解等いただきますようお願いいたします。

お知らせ

2月11日（金）祝日13時～15時、オンラインで開催予定の「次世代が創るSDGsの世界」フォーラム開催にあたり、関西学院同窓会北摂支部から、五年生・六年に出演依頼がありました。学年2グループ程度の出演者を決め、ESD学習発表会でプレゼンした内容を発表します。新田小でのESDの学びを、校内から身近な地域へ広げ、次世代の担い手として地球規模で生起する諸課題に対しアプローチする機会にしたいと考えています。



ESD 博物館

よいよい社会づくりにつながる学び

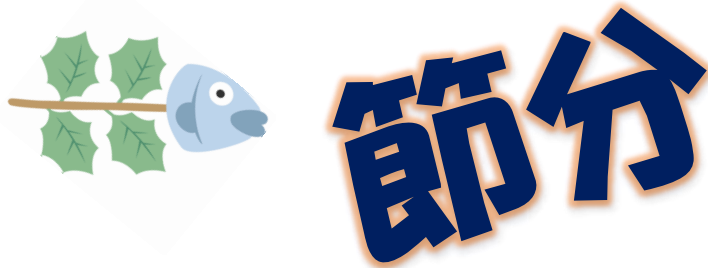
2月15日（火）～18日（金）
体育館にて開催！

令和3年度（2021年度）のESD（SDGs）学習のまとめとして、ESD博物館を開催いたします。

本来、ESDフェスタとして保護者の皆様や地域の皆様のご参加のもと、実施するものですが、現在のオミクロン株の感染状況を鑑み、昨年度と同様にESD博物館に変更し、学習物やVTRによる発表等にかえて実施することにいたします。

コロナ感染対策として学年ごとに参観時間を設定しています。制約のある時間内でのご参観となり申し訳ありませんが、可能な限りご来校いただき、各学年の子どもたちの学びをご覧くださいませようをお願いいたします。*18日（金）は児童のみ対象

- 1年生 「いろんな せかいを しょうかいしよう」
- 2年生 「であい・見つけよう・わたしたちのつながり」
- 3年生 「知ろう、考えよう！わたしたちの『食』のこと」
- 4年生 「OSAKA charm ranger」
- 5年生 「UPCYCLE IN SINDEN」
- 6年生 「Love&Peace～世界の課題解決をめざして～」



**鬼は外！
！福は内**

節分は、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことをいい、「季節を分ける」ことを意味しているようです。日本では奈良時代に疫病が流行した際に、悪い鬼を追い払うために天皇が行った儀式が始まりとされていますが、現在のような「鬼は～外！福は～内！」のかけ声とともに豆をまくスタイルになったのは、室町時代以降からのようです。因みに、家の門にヒイラギに焼いたイワシの頭をつけて飾る習慣は、鬼は、イワシを焼いた臭いが嫌いだから家に寄せ付けないため。そして葉のとがったヒイラギで鬼を退治するための魔除けの意味合いがあるようです。

今年こそ、新型コロナウイルスの収束と一年の無病息災を願いたいものです。



フードドライブに挑戦！



フードドライブとは、食品ロスを少しでも減らすために、進められている活動の一つであり、学校や職場、イベントなど、人の集まる場所ならいつでもどこでもできるボランティア活動です。

家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。フードドライブは、アメリカで食品ロスの削減と生活困窮者支援の目的で始まったと言われています。

3年生は、ESD学習の一環で、食品ロスを減らすための取組みを進めており、2月に豊中市の「フードドライブ」に参加し挑戦します。

ご家庭で眠っている食品（賞味期限内・未開封）があれば、お子さんをとおして学校へ届けていただきますようお願いいたします。集まった食品は、市の社会福祉協議会を通じて、「こども食堂」や「生活困窮者支援」などに活用していただく予定です。

回収期間はESDウィークの2月14日（月）～18日（金）で、朝、3年生等が校門で回収活動を行います。また、ESD博物館内にも回収BOXを設ける予定です。

保護者の皆様には参観の折にご協力いただくと助かります。

<豊中市のフードドライブの仕組み> 市内完結型

- 家であまった食品
- お歳暮などの贈答品
- 売れ残りの商品など

集荷

• 豊中市社会福祉協議会など

提供

- 店舗回収
- イベント開催など

分配

- こども食堂
- 生活困窮者など



この仕組みは、豊中市内ですべてが循環していることから市内完結型といわれています。

皆でフードドライブに参加しましょう！